



庄司紗矢香 ©Kishin Shinoyama



佐藤俊介 ©Sakai Koki



磯村和英



クライヴ・グリーンズミス



小菅優 ©Marco Borggreve



ミシェル・ブヴァール

FOCUS

10.31 金 11.2 日 新ダヴィッド同盟 演奏会

新ダヴィッド同盟、2年ぶりの演奏会は2つのプログラムをご用意!

文 関根哲也

お待たせいたしました!専属楽団「新ダヴィッド同盟」が満を持して、2年ぶりの演奏会を行います。ソコ活動で世界各地を飛び回っているメンバーたちも、早く水戸に集まり、気心知れた音楽仲間と室内楽を楽しみたいとウズウズしている様子です。

練達の室内楽奏者、

クライヴ・グリーンズミス

今回、石坂団十郎に代わってゲスト出演するのがクライヴ・グリーンズミス(チェロ)です。イギリス・ロンドン生まれのグリーンズミスは、王立ノーザン音楽大学とケルン音楽大学で、ドナルド・マッコールとボリス・ベルガメンシコフに師事し、ロンドンのロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団で首席チェロ奏者を務めました。そのグリーンズミスに転機が訪れるのは1999年。東京クワルテットを退いた原田禎夫(水戸室内管弦楽団のチェロ奏者としておなじみですね)の後任として、同クワルテットに入団することが決まったのです。当時のことについて、グリーンズミスは次のように回想しています。「クワルテットでは各メンバーが曲の解釈のあらゆる面に対して責任を負いますから、何事もおろそかにできない。入団したてのころは、コンサートで演奏するのにこんなに集中力があるのか、と驚きましたよ。」(王子ホー

ルの2009年のインタビューより)その後、14年にわたり、名実ともに世界のトップを走る弦楽四重奏団のチェロ奏者という重責を担いました。庄司紗矢香は、2013年の東京クワルテットのパリ公演を聴きに行き、グリーンズミスの演奏に大変感銘を受けたそうです(同クワルテット創設以来、ずっとヴィオラ奏者を務めた磯村和英談)。

初の2プログラム公演

メンバーに今回のプログラムを相談すると、昨年演奏会が開催できなかったこともあってか、演奏したい曲のアイデアが次々に噴き出しました。そこで、異例の2プログラム公演とし、合計8日間水戸に合宿して、演奏を練り上げることになりました。

Aプログラム(10/31)は、メンバー全員がかねてから演奏したいと願っていたフランクの名作〈ピアノ五重奏曲〉をメインに据えたプログラム。フランクは1874年にワーグナーの〈トリスタンとイゾルデ〉を聴き、大いに感銘を受けますが、1878~79年に作曲された〈ピアノ五重奏曲〉も度重なる転調と半音階進行に彩られた、濃厚なロマンティシズム漂う作品です。他に、モーツァルトのパセティックな〈ピアノ四重奏曲 第1番〉と、ハンガリーの民族性が色濃く反映されたコダーイの〈二重奏曲〉。

Bプログラム(11/2)のメインは、ブラームスの〈ピアノ五重奏曲〉。2011年に一度演奏したことのある作品ですが、今回はメンバーが変わりますので、また異なる視点からの演奏が期待できそうです。他に、幻想性あふれるシューベルトの〈ピアノ三重奏曲 第1番〉とコダーイの〈二重奏曲〉(コダーイはAプログラムと共通)。

A・B両プログラムとも、2年ぶりの演奏会に向けたメンバーのやる気と情熱が形となり、充実した内容になりました。世界的な奏者たちが、音楽への熱い思いを共有する仲間と、思う存分リハーサルを重ねて演奏会に臨む——その上質なアンサンブルに、どうぞご期待ください。

新ダヴィッド同盟 演奏会

Aプログラム 10/31 金 18:30 開場
19:00 開演
Bプログラム 11/2 日 15:30 開場
16:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM
【1回券】A席5,500円 B席4,500円 ユース(25歳以下)2,000円
【A・Bプログラム・セット券】A席10,000円 B席8,000円 ユース(25歳以下)3,500円
出演 庄司紗矢香(ヴァイオリン)、佐藤俊介(ヴァイオリン)、磯村和英(ヴィオラ)、クライヴ・グリーンズミス(チェロ/ゲスト)、小菅優(ピアノ)

【Aプログラム】
モーツァルト:ピアノ四重奏曲 第1番 短調 K.478
コダーイ:ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 作品7
フランク:ピアノ五重奏曲 へ短調
【Bプログラム】
シューベルト:ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 D898
コダーイ:ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 作品7
ブラームス:ピアノ五重奏曲 へ短調 作品34

10.24金 ミシェル・ブヴァール オルガンリサイタル

フランス・オルガン界の巨匠が奏でる、独仏のオルガン音楽の精華

文 高巢真樹

—まずブヴァールさんがオルガニストになろうと思われたいきさつをお聞かせください。

ブヴァール 祖父のジャン・ブヴァール(1905～96)は、パリのノートルダム大聖堂のオルガニスト、ヴィエルヌのもとで勉強したオルガニストでした。私は5歳でピアノを始め、幼い頃から祖父の演奏を聴いて育ちました。医者兼アマチュアのオルガニストだった父は、自宅のピアノでJ.S. バッハの前奏曲とフーガを弾く時、私に曲の低音部と一緒に弾くよう言ったものです。こうして私は幼い頃からJ.S. バッハの名曲から大きな影響を受けました。ある時祖父が父に、練習用にと2段の手鍵盤と足鍵盤付の電子オルガンを贈ったのですが、10歳くらいだった私は、父が病院で仕事している間にこっそりオルガンを独学しました。数か月後に祖父が来た時、彼が作曲した〈バスク地方のノエルによる変奏曲〉を弾くととても驚いてくれました。その後、ピアノの先生がクリスマスイヴに行われたミサに私を連れて行ってくれ、その曲を教会のオルガンで弾くことが叶ったのです。こうして私は天職に出会いました。そして16歳でパリに出て、オルガンを専門的に学び始めたのです。

—今回は第1部にドイツのオルガン音楽、第2部にフランスのオルガン音楽が演奏されますが、それぞれの特徴についてお聞かせください。

ブヴァール 大まかにお答えすると、ドイツの音楽は「対位法」[カノンやフーガのように、複数の独立した旋律を重ね合わせる作曲技法]が基本にあり、その大家がJ.S. バッハです。フランスの音楽は、クーブランやフォーレ、ドビュッシー、メシアンに象徴されるように、和音のつながりや音の色彩感など「和声」が基本となっています。またドイツの音楽は知的に構築されており、演奏する前

でさえも、読んで理解して鑑賞することが可能といえるでしょう。一方フランスの音楽はもっと「直観的」で、ほんのいくつかの音で、ある感情や特徴が捕らえられていたり、シンプルに書かれています。つまり読まれるためではなく、演奏されるためにある音楽なのです。直観的で簡潔な楽譜から、いかに音を鳴らし、そこに生命を吹き込めるか…演奏の芸術性は、その緻密な部分に宿っています。それがフランス音楽の魅力です。

—今回のリサイタルでは、ルネサンス時代から20世紀まで幅広い時代のオルガン音楽が選ばれました。この選曲の意図や、主な演奏曲についてご紹介をお願いします。

ブヴァール 皆様には演奏会を通じて、数世紀に跨るオルガン音楽の歩みを感じ、理解を深めて頂ければと思います。また、ある作曲家が後代に及ぼした影響や音楽言語の変遷、時代毎に特有の形式を持つ各作品の素晴らしさも感じていただくと嬉しいです。例えばロマネスク様式の美しい教会はそれ自体完璧で、ゴシック様式の大聖堂に劣るわけではないように、芸術に「進歩」という概念はないのではないのでしょうか。

第1部は、J.S. バッハを中心に「その前後」、つまり17世紀初めから19世紀のメンデルスゾーンに至るまでのドイツ音楽を演奏します。J.S. バッハは決して「自然発生的」に現れたのではなく、彼以前から続いてきた芸術の「極み」であることがお分かり頂けるでしょう。〈トッカータ、アダージョとフーガ 八長調〉は、ペダルの妙技が特徴的な北ドイツと、アダージョに見られるイタリアの影響が感じられる、J.S. バッハの傑作の一つです。

第2部は、ルネサンス時代から今日までに書かれたフランス音楽を演奏します。舞曲、三重奏、伴奏曲(〈テ・デウム〉の

伴奏)、パッサカリアの形式(デュリュフレ)、連祷(キリスト教の典礼的な祈りの一種。連続して交互に祈る応答祈禱)、変奏曲など様々な形式の楽曲が登場します。デュプレの連祷の主題を、アランのそれと比較するのも興味深いと思います。アランは、ピカソが絵画で行ったようなやり方で主題を変化させています。また最後に演奏するのは祖父ジャン・ブヴァール作曲の〈バスク地方のノエルによる変奏曲〉です。これは先述の通り、私が小さい頃から大好きな作品で、バスク人のデュプレとその妻に捧げられています!

—水戸のお客様に向けて、メッセージをお願いします。

ブヴァール 今回初めて水戸を訪れ、この「音楽のための空間」で演奏できることをとても嬉しく光栄に思っています。また音楽を愛し、熱心に聴いてくださる日本の皆様との出会いを楽しみにしています。この演奏会を通して、ヨーロッパで5世紀にわたって育まれたオルガン芸術の豊かさを感じていただくと共に、水戸の素晴らしいオルガンの音色をまた聴きたいと思って頂ければ幸いです。

2014年8月16日Eメールにて

ミシェル・ブヴァール
オルガンリサイタル10/24金 18:30 開場
19:00 開演会場 水戸芸術館エントランスホール
全席指定 A席 3,000円 B席 2,000円
ユース(25才以下) 1,000円出演 ミシェル・ブヴァール(オルガン)
宇山=ブヴァール康子(オルガン)

曲目 第1部

シャイデマン: プレアンブルム ニ調
ブクステフーデ: パッサカリア ニ短調

BuxWV161

J.S. バッハ: トッカータ、アダージョとフーガ
八長調 BWV564

メンデルスゾーン: 厳格なる変奏曲 Op.54

第2部

シャルペンティエ: 〈テ・デウム〉より前奏曲

ニ長調

デュリュフレ: 組曲 作品5より 前奏曲

変ホ短調

デュプレ: 行列と連祷

アラン: 連祷

ブヴァール: バスク地方のノエルによる変奏曲
ほか

10.11^土 茨城の名手・名歌手たち 第24回 (司会：池辺晋一郎)

今年も新たな名手・名歌手たちが水戸芸術館からはばたきます

文 篠田大基

茨城ゆかりの優れた音楽家をオーディションで発掘し、演奏会で紹介する「茨城の名手・名歌手たち」。今年のオーディションで見事合格した9組の名手・名歌手たちによるガラ・コンサートを、10月11日に開催します。今回は、管楽器・声楽・器楽アンサンブル・声楽・管楽器という、前後対称の面白いプログラムになりました。

演奏会の幕開けは関美矢子さんのオーボエから。ヴィヴァルディのソナタをチェンバロとチェロの通奏低音付きでお聴きいただきます。これに対して演奏会の最後では、同じく管楽器部門の合格者・サクソフォンの上野耕平さんがピアノとの共演で吉松隆のソナタを披露。バロックと現代、イタリアと日本という好対照の選曲となりました。

声楽部門合格者の3人はいずれもソ

プラノ。それぞれの演奏曲目にはオペラ・アリアが1曲ずつ入っていますが、そこにどんな曲を組み合わせるかに個性が表れています。石崎育美さんは日本歌曲、柿長飛鳥さんはアメリカ歌曲、瀧本真己さんはイギリス歌曲。三者三様の世界をお楽しみに。

器楽アンサンブルの4組もヴァラエティ豊か。オーボエ、ファゴット、ピアノの三重奏 Clair (クレール) は清澄なアンサンブルが持ち味。打楽器奏者3人組の Esprit Libre ensemble (エスプリ・リーブレ・アンサンブル) は曲芸的な演奏で、昨年度、全日本アンサンブル・コンテストで金賞を受賞した実力派。そして今回は2台ピアノのグループが2組登場。Le Simpatiche (レ・シンパティケ) と aile d'ore (エル・ドール) です。Le Simpatiche の池田紗智恵さんと aile

d'ore の鈴木菜穂さんは、過去にピアノ独奏でも「名手・名歌手たち」に合格しています。独奏の合格者がアンサンブルを組んだり、アンサンブルの合格者が独奏で再出演したり、茨城の音楽家たちの活動の発展が見られるのも、「名手・名歌手たち」の面白さです。水戸芸術館から巣立ち、さらなる飛躍を目指す音楽家たちの演奏にご注目ください!

茨城の名手・名歌手たち 第24回

10/11^土 17:30 開場
18:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

全席自由 1,500円

司会 池辺晋一郎 (オーディション審査委員長)

出演 関美矢子 (オーボエ)、上野耕平 (サクソフォン)、石崎育美 (ソプラノ)、柿長飛鳥 (ソプラノ)、瀧本真己 (ソプラノ)、Clair (オーボエ、ファゴット、ピアノ)、Le Simpatiche (2台ピアノ)、Esprit Libre ensemble (打楽器アンサンブル)、aile d'ore (2台ピアノ)

2014.8.9

こどものためのパイプオルガン体験
パイプオルガン・プロムナード
・コンサート夏休みスペシャル

夏休みのアート体験「こどもこらぼらぼ 2014」で、「こどものためのパイプオルガン体験」を開催しました。講師は、明るく丁寧な指導で毎年大人気の山口綾規さん。今回はパイプオルガンの試奏や楽器内部の観察に加えて、他の鍵盤楽器(ピアノやチェンバロ)にもふれる機会を設け、比較を通してオルガンの特徴をより鮮やかに体感できる内容。多彩な音色が備わったパイプオルガンを嬉しそうに奏でる子どもたちの姿が印象的でした! 午後は「プロムナード・コンサート夏休みスペシャル」。大ヒット映画『アナと雪の女王』主題歌をはじめ、ビゼー〈カルメン幻想曲〉ではオルガンとカスターネットが同時に奏でられて彩りを添え、山口さんならではの楽しい趣向満載で、夏のひとときを盛り上げてくれました。《高巣》アンケートから ■パイプオルガンのけんぼんはおもかった。けんぼんが3だんあってびっくりした。ボタンやパイプの仕組みが分かって楽しかった。(水戸市:A.M.ちゃん) ■うまれて初めてパイプオルガンを体験できてとても楽しかった。夏休みの日記に書きたい。(水戸市:T.W.くん) ■いつもさわれないパイプオルガン、チェンバロをひけたこと、ふくざつなしくみを自分の目で見

られたことがよかったです。特にそう風機や内側を見られてうれしかったです。(ひたちなか市:Y.I.ちゃん)

2014.8.10

NHK 水戸児童合唱団
第4回定期演奏会

水戸を中心にいろいろなコンサートやイベントで歌声を披露しているNHK水戸児童合唱団は今年設立10周年。8月10日の公演はその記念演奏会。司会はNHK水戸放送局キャスターの井上智恵氏。NHK「みんなのうた」のおなじみの曲から、フォーレやコチャールの合唱作品、客演ピアニストの寺嶋陸也氏の作品などの現代児童合唱曲まで、盛り沢山のプログラムを、子どもたちは元気に歌い切った。アンコールは、菅野よう子〈花は咲く〉(NHK「明日へ」東日本大震災復興支援ソング)。《篠田》アンケートから ■すばらしい歌声に感動しました。一生懸命に練習した成果が歌声に表れていて涙が出てしまいました。素直な子供達の心が歌声となって私達大人にしみ入る様な感動を与えてくれたのかと思いました。(常陸大宮市の方) ■楽しく耳を傾けました。歌い手、ピアノ、指揮者、一体となったハーモニーに心を癒されました。(笠間市:I.I.さん) ■第4部が振り付けやステージの工夫があって見ごたえたっぷりでした。子どもたちから元気をもらいました♪(水戸市の方)

最近の公演から



1: こどものためのパイプオルガン体験
2: パイプオルガン・プロムナードコンサート夏休みスペシャル
3: NHK水戸児童合唱団第4回定期演奏会

チケット・インフォメーション

《9月27日(土) 発売分》

■山本徹 バロックチェロ・リサイタル

11/30 (日) 15:00 開演

料金 [全席自由] 一般 ¥3,000 / 学生 ¥1,500

■ラテック・パボラーク&アレシュ・パルタ デュオ・リサイタル

12/8 (月) 19:00 開演

料金 [全席指定] A 席 ¥3,000 / B 席 ¥2,000 / ユース (25 歳以下) ¥1,000

■クリスマス・プレゼント・コンサート 2014

12/23 (火・祝) 17:00 開演

料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース (25 歳以下) ¥1,000

■新ダヴィッド同盟 演奏会

10/31 (金) 19:00 開演 [A プログラム]、

11/2 (日) 16:00 開演 [B プログラム]

料金 [全席指定]

[1 回券] A 席 ¥5,500 / B 席 ¥4,500 / ユース (25 歳以下) ¥2,000

[A・B プログラムセット券] A 席 ¥10,000 / B 席 ¥8,000 / ユース (25 歳以下) ¥3,500

エントランスホール

■ミシェル・ブヴァール オルガン・リサイタル

10/24 (金) 19:00 開演

料金 [全席指定] A 席 ¥3,000 / B 席 ¥2,000 / ユース (25 歳以下) ¥1,000

■パイプオルガン プロムナード・コンサート

10/12 (日) 三上郁代、18 (土) 西岡崇

各日 12:00 ~ / 13:30 ~ (各回 30 分程度) 入場無料

ACM 劇場

■バンダ・ラ・コンチャン コンピアルバム 御ゑん祭 出演: 近藤芳正 ほか

10/19 (日) 15:00 開演

料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / U-25 (25 歳以下) ¥3,000 / 高校生以下 ¥2,000

■国本武春の世界 2

10/26 (日) 15:00 開演

料金 [全席指定] S 席 ¥3,500 / A 席 ¥3,000 / B 席 ¥2,500

現代美術ギャラリー

■鈴木康広展「近所の地球」

8/2 (土) ~ 10/19 (日) 9:30 ~ 18:00 ※入場は 17:30 まで

[休館日] 月曜日

※ただし 9/15、10/13 (月・祝) は開館、翌 9/16、10/14 (火) 休館

[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体 (20 名以上) ¥600

※中学生以下・65 歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方 1 名は無料

茨城の主な 10 月の演奏会

■佐川文庫 TEL / 029(309)5020

・石川奈々歩 ピアノ・リサイタル 10/11 (土) 18:00 開演

■坂東市民音楽ホール TEL / 0297(36)1100

・池辺晋一郎 & N 響団友オーケストラコンサート

10/12 (日) 16:00 開演

これからの演奏会・残席情報

○…残席あり (20 席以上) △…残席わずか (20 席未満) ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎ちょっとお昼にクラシック

大萩康司 (ギター) × 三浦一馬 (バンドネオン)

……………9/20 (土) 中央 ×、左右・裏 △

◎坂口大介・高野綾 デュオ・リサイタル……………9/28 (日) 自由席 ○

◎水戸室内管弦楽団 第 91 回定期演奏会

(指揮、オーボエ: ハイイツ・ホリガー)

……………10/4 (土) 中央 ○、左右・裏 ○

……………10/5 (日) 中央 ○、左右・裏 ○

◎茨城の名手・名歌手たち 第 24 回 (司会: 池辺晋一郎)

……………10/11 (土) 自由席 ○

◎ミシェル・ブヴァール オルガン・リサイタル

……………10/24 (金) 1F ○、2F △

◎新ダヴィッド同盟 演奏会

……………10/31 (金) 中央 △、左右・裏 ○

……………11/2 (日) 中央 ×、左右・裏 ○

◎河村尚子 ショパン・プロジェクト 第 1 回

……………11/8 (土) 中央 ○、左右 ○

◎宇野陽子 チェロ・リサイタル……………11/16 (日) 自由席 ○

◎ちょっとお昼にクラシック 池上英樹 (マリンバ、打楽器)

……………11/24 (月・祝) 中央 ○、左右 ○

※ 9/2 (火) 現在の状況です。

※ 固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

水戸芸術館の主な 10 月のスケジュール

コンサートホール ATM

■水戸室内管弦楽団 第 91 回定期演奏会

(指揮、オーボエ: ハイイツ・ホリガー)

10/4 (土) 18:30 開演、10/5 (日) 14:00 開演

料金 [全席指定] S 席 ¥9,000 / A 席 ¥7,500 / B 席 ¥6,000 / ユース (25 歳以下) ¥2,500

■茨城の名手・名歌手たち 第 24 回 (司会: 池辺晋一郎)

10/11 (土) 18:00 開演 料金 [全席自由] ¥1,500

チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間: 9:30 ~ 18:00 (月曜休館)

公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月 1 回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall_ATM

編集後記

見 知らぬ街を歩くのは楽しい。気の趣くままに寄り道をし、気づけば手元にはお土産の数々。帰宅後、一晩寝て思うことは目にもみえているのに… “なんで、こんなもの買ってしまったんだろう。” 旅先での恐ろしい魔法。(り)

家 に帰って玄関の扉に手をかける寸前、視界に違和感が。ドアノブに緑の物体。本能で手を引っ込めて目を凝らすと、カエル…。しばしカエルにとらめっこ。数分後何かを察し、どいてくれたのでようやく中に入れました(い)

愛 知、福島、福岡、大分、長野、神奈川、東京。この夏はいろんな所に行った。日本の四季は最近の異常気象で変なことになっているけれど、土地それぞれの景色や匂いは、狭い日本のなかでも多様であってほしいなあ。(篠)

犬 の散歩をしていたら、近所の林でタヌキに出会った。最初猫かと思ったが、確実にタヌキ。夏場は毛が抜け、ずいぶんスリムになるらしい。こういう野生動物が生息できる自然はどんどん少なくなっているんでしょうね。(て)

面 白いバスに乗りました。その名もジャズバス。走行中の車内で生演奏を聴きつつ会場間を移動できる、すみだストリートジャズフェス限定の乗物。日常の中の非日常、そして町中に溢れる音楽に心躍るひとときでした。(樹)

夏 と言えばヴァカンス! とまではいなくても、短くてもいいから日常を離れた旅がしたい! と思うのだが、2 年続けてどこへも行けなかった。普段身を置いている場所から離れて、自分を傍観することも大切なのだが。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]

2014 年 10&11 月発行 第 191 号

編集発行: 水戸芸術館音楽部門

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8

TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130

E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp

URL <http://arttowermito.or.jp/>

編集: 水戸芸術館音楽部門 (五十音順) / 石井亮子

稲田枝里子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃

デザイン: 藤澤絢子

印刷所: 山三印刷株式会社